



STANDARD
TOKYO

2025年1月15日

各位

会社名 株式会社テノックス
代表者名 代表取締役社長 若尾 直
(コード：1905 東証スタンダード)
問合せ者 取締役管理本部長 堀切 節
(TEL.03-3455-7758)

発生残土を大幅に削減できる既製コンクリート杭高支持力中掘り拡大根固め工法
「CP-X 工法」を開発

株式会社テノックス（本社：東京都港区、代表取締役社長：若尾 直、以下テノックス）と日本ヒューム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：増渕 智之、以下日本ヒューム）は、2020年12月に資本業務提携を締結し、両社のシナジーを生かす新たな取り組みを進めておりました。この度、建設基礎工事におけるサステナブルな社会の実現に向けた取り組みの一環として、社会問題化している建設発生残土を大幅に削減できる既製コンクリート杭高支持力中掘り拡大根固め工法である「CP-X 工法」（商標登録出願中）を共同開発し、一般財団法人ベターリビングより認証（技術評定）を取得、2025年1月より販売を開始いたしますのでお知らせいたします。

1. 既製コンクリート杭工法の概要

基礎工事の種類は、既製コンクリート杭工法、鋼管杭工法、場所打ちコンクリート杭工法、地盤改良工法などがある中で、中層以下の建築物については約70%を既製コンクリート杭工法が占めています。既製コンクリート杭工法には、穴を掘ってから杭を沈めるプレボーリング工法と、杭の先端部に設けたドリルで穴を掘りながら杭を沈める中掘り工法があります。

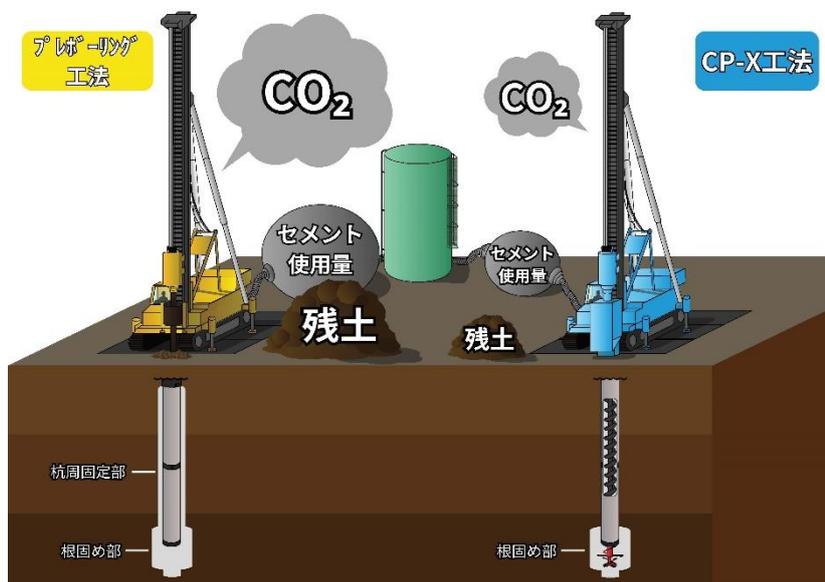
2. CP-X 工法の概要

日本ヒュームの既製コンクリート杭と、テノックスの先端拡大根固め中掘り工法という両社の強みを組み合わせた、非常に高支持力でありながら低残土および工期短縮を実現する工法で、地球環境に優しく、また建設発生残土の削減を喫緊の課題とする顧客（元請建設会社）のニーズを満たす工法です。

【特長】

①環境性能

プレボーリング工法と比較して残土量を約60～75%削減し、建設業界が率先して取り組んでいるサーキュラーエコノミーに貢献。また、残土処理のための重機稼働や、残土搬出のための車両往来で生じるCO₂も、大幅に削減することができます。



<残土量、CO₂排出量比較イメージ図>

②工期短縮

中掘り工法は、プレボーリング工法では不可能な杭の埋設作業の途中中断・翌日再開が可能であり、また既製コンクリート杭では機械式接手を採用できることから、1日の労働時間を効率的に活用できます。特に支持層が深く（概ね30～40m以深）杭長が長い現場においては、大幅な工期短縮が実現可能です。

③トップクラスの鉛直支持力性能

杭本数の低減によるリーズナブルな設計と工期短縮を実現することができます。

④品質

中掘り施工により優れた鉛直性と杭心精度の確保が可能です。

3. 今後の展開について

以上のような特長を生かし、建設需要が高まるデータセンターや物流施設、病院、集合住宅といった幅広い建築物への適用に向け、両社は販売を強化してまいります。



【会社概要】

会社名	株式会社テノックス	日本ヒューム株式会社
代表者	代表取締役社長 若尾 直	代表取締役社長 増渕 智之
資本金	17 億 1,090 万円	52 億 5,140 万円
従業員数	366 名	552 名
本社所在地	東京都港区芝 5 丁目 25 番 11 号	東京都港区新橋 5 丁目 33 番 11 号
HP	https://www.tenox.co.jp/	https://www.nipponhume.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社テノックス 営業本部開発営業部
TEL : 03-3455-7790
<https://www.tenox.co.jp/contact/>

日本ヒューム株式会社 技術本部
TEL : 03-3433-4114
[mail : nhc@nipponhume.co.jp](mailto:nhc@nipponhume.co.jp)